

大津市議会質問力研修 開催のご案内

2012年8月6日(月)～7日(火)

本プログラムは、一般質問を素材に自治体議会議員の質問力を上げ、それを通じて政策提案能力さらに政策形成能力を伸ばさせるための短期集中研修を、大津市議会議員のかたむけにアレンジしたものです。

実際に行われた一般質問を、議員、また議会答弁経験豊かな元・現自治体職員及び研究者のアドバイザーで構成する少人数グループで検討し、これを通じて監査力や政策提案力のある一般質問作成のための理論、理念、コツや技法を学びます。



実施：龍谷大学政策学部 地域協働総合センター／地域公共人材・政策開発リサーチセンター (LORC)

本研修の概略と獲得目標

議 会改革の動向が大きく注目されています。議会の縮小を主張する声もありますが、逆に、議会と長の二元代表制のもとで議会が果たす機能・役割の重要性は高まっていくことでしょう。議会またそれを支える議員の「力」がますます重要となります。

本研修は、市政を監査し、政策提案を行う開かれた機会である「一般質問」について、その機能をよりよく活用できる「質問力」を伸ばすことを目的としています。

一般質問は、議員としての活動のうち、直接にまた公式に地域政策のあり方に関与する場です。市民に公開され、議員の「政策力」が直接量られる機会ともいえます。政策力とくに一般質問の「質問力」の伸長は、議員にとって活用の機会が多い能力開発となるでしょう。さらに、議会ごとにおかれる政策提案の機会が、すぐれた質問と応答によって活性化することは、議会の活性化にも直接資することになります。

本研修は、議員有志の協力を得て龍大LORCで開発・試行されたプログラムを、今回あらたに大津市議会議員のかたむけにアレンジし、大津市議会と龍谷大

学の地域連携協定に基づいて実施する参加型研修です。

初日は、これまでの研修成果から、またこんにちの議会改革の動向から見えてきた「一般質問」の機能と技法、多様な議会のありかたと制度を学びます。2日めは、実際に行われた一般質問を素材に、グループワークでの検証を通じて効果的な一般質問について考えます。

本研修の獲得目標

本研修は、以下3点を獲得目標とし、地域政策形成過程の議会および議員の今日的機能、議員提案の機能、意義について理解を深めることを目的とします。

1. 地域政策形成過程における議会および議員の今日的機能、議会における議員提案の機能、一般質問がもつ機能について理解する。
2. 一般質問を素材として、政策課題の発見、分析、提案、評価の手法を洗練する。
3. 一般質問を市政の監査、政策提案に活用するための手法を共有し、学ぶ。

タイムスケジュール

8月6日(月)

- 14:00 開会・企画趣旨説明
- 14:10-15:30 全体講義
- 15:40-16:10 議会あるある事例集
- 16:15-16:55 グループディスカッション
- 17:00 終了

8月7日(火)

- 10:00-12:00 **グループワーク1**
一般質問の事例検討：他市の事例から
- 12:00 **昼食**
- 13:00-15:30 **グループワーク2**
参加者が実際に行った一般質問から
- 15:30頃-16:30 **グループワーク3**
まとめの議論
- 16:30-17:00 **共有・全体コメント**
- 17:00 閉会

会場

大津市議会 議場・委員会室

〒520-8575 滋賀県大津市御陵町3-1

初日：一般質問の機能を考える

初日は、議会における一般質問の機能を整理し、これまでの検討や研修をつうじて明らかになってきた一般質問のポイントを、講義形式で学びます。

また、議会の運営ルールや制度のありかたが、実は自治体それぞれで異なっていることを比較によって学びながら、制度の意味や活用を考えます。

2日め：特徴あるグループワーク

2日めは、グループワークを主体に進行します。

「参加者6名、アドバイザー：議会答弁の経験ゆたかな自治体職員1名+議員サポーター：他市で一般質問を積極的に行っている議員1名」でグループを構成します。

グループワーク1では、これまで「質問力研修」で使われた、他市の実際にあった一般質問を素材に、その質疑の過程をみながら、効果的な一般質問について検討します。

グループワーク2では、参加者のうちご希望のかたに、「思ったような答弁が引き出せなかった」うまく活かせなかった一般質問をご用意いただき、それを素材として「どうしたらよりよい一般質問となったか」を検討します。

グループワーク3で得られたそれぞれのグループの総括を、最後に全体で参加者の発見を共有し、より質の高い一般質問作成のための技法を高め、視点を深めるための知見を確認します。

参加者、アドバイザーでの議論を通じて、参加者どうしの経験の共有、アドバイザーそれぞれの視点の提供があり、質問の論点整理や構成また事前事後の情報収集などの向上が期待されます。

質問力研修について

質問力研修は、2011年から3回にわたって開催されています。議員参加者、行政職員アドバイザー、また研究者がアドバイザーとなり、多様な視角から参加者の「思ったような答弁が引き出せなかった」一般質問を検討しあうことで、一般質問を市政の監査、市政への政策提案の機会として機能させる「質問力」の伸長をめざした研修です。今回は、龍谷大学と天津市議会の地域連携協定により、単一議会での研修としてアレンジし実施。通常の質問力研修でも重要な要素となる他議会の事例や一般質問の多様な手法を、サポーター議員の参画で共有しながら、議会全体での一般質問の活性化をはかる研修企画となっています。

参加にあたってのお願い：

2日めのプログラムについては、全日参加を原則とさせていただきます。

2日めのプログラムにご参加予定のかたは、事前にお配りする資料、筆記用具をお持ち下さい。また、アンケートにご協力下さい。

グループワーク2で、ご自身の一般質問を提供いただく方には、事前に資料をやりとりさせていただきます。

日付	時間	内容
8月6日 (月)	14:00-14:10	開会・企画趣旨説明
	14:10-15:30	全体講義
	15:40-16:10	議会「あるある」事例集
	16:15-16:55	グループディスカッション
	17:00	終了
8月7日 (火)	10:00-12:00	グループワーク1
	12:00-13:00	昼食
	13:00-15:30	グループワーク2
	15:30-16:30	グループワーク3
	16:30-17:00	共有・全体コメント
	17:00	閉会

プログラム内容

●8月6日(月)

全体講義

土山希美枝 龍谷大学政策学部准教授

「議論する議会のための「質問力」— 議会機能の活性化の一步として」

議会「あるある」事例集

日頃あたりまえに感じている議会運営や制度を、議会比較を通じて「なんのために・なぜ」そうなっているかを考えます。

グループディスカッション

(委員会室に移動します) 初日の講義・事例集で感じたことなどを語り、共有します。

●8月7日(火)

グループワーク1

他市の一般質問(質問+答弁)を素材に、効果的な一般質問の作成を検討します。

グループワーク2

参加者から提供された「思ったような答弁が引き出せなかった一般質問」を検討。一般質問の作成、活用のポイントを議論します(適宜休憩をはさみます)

グループワーク3

グループワーク1、2をふまえ、「いい一般質問」とそのために必要なものはなにか、を議論します。

共有・全体コメント

グループワークの内容を報告、全体で共有します。

実施：龍谷大学

地域協働総合センター

地域公共人材・政策開発リサーチセンター LORC

担当：LORC 野口

rootshiro@ad.ryukoku.ac.jp